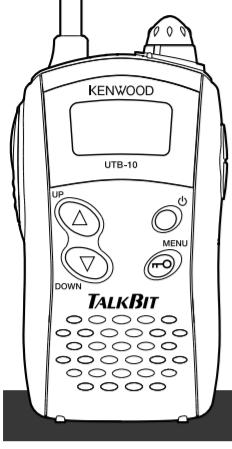


UTB-10

特定小電力トランシーバー
取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる場所に保管してください。

本機は日本国内専用のモデルですので、国外で使用することはできません。



株式会社 JVCケンウッド

B5A-0314-10 (J)



株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。
- 修理などアフターサービスについては、弊社ウェブサイトをご覗いただくなさい。

<http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

固定電話からは、フリーダイヤル

0120-2727-87

携帯電話・PHSからは、ナビダイヤル

0570-010-114

一部のIP電話など、フリーダイヤル、ナビダイヤルがご利用になれない場合は

045-450-8950

FAXを送信される場合は

045-450-2308

住所 〒221-0022

神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

受付日 月曜日～土曜日（祭日および、弊社休日を除く）

受付時間 9:30～18:00

土曜日 9:30～12:00、13:00～17:30

安全上のご注意

絵表示について

この「安全上のご注意」には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用の際には、次の内容（表示と意味）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

- △危険** この表示を無視して誤った取扱をする人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
- △警告** この表示を無視して誤った取扱をする人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- △注意** この表示を無視して誤った取扱をする人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

- △** 記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の近くに具体的な注意内容を示しています。
- 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）を示しています。
- 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをACコンセントから抜く）を示しています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、またはこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

△危険

使用環境・条件

- △** 引火、爆発の恐れがありますので、プロパンガス、ガソリンなどの可燃性ガスの発生するような場所では使用しないでください。

- △** 運転しながら本機を操作（通話）するのをおやめください。安全な場所へ車を停車させてから操作（通話）してください。

充電池（バッテリーパック）の取扱について

充電池は以下のことをお守りいただけない場合、けがや電池の漏液、発火、破裂する原因となります。

充電池を電磁調理器の上に置いたり、電子レンジや高圧容器に入れないでください。

充電温度範囲は、5°C～40°Cです。この温度範囲以外では充電しないでください。

専用充電台以外では充電しないでください。

本機以外の機器に取付けないでください。

火の中に投入したり、加熱したり、ハンダ付けたり、分解しないでください。

端子を針金などの金属類でショートさせないでください。また、ネットクレスやヘアピンなどの金属物と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすことがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

△警告

使用環境・条件

- △** 電子機器（特に医療機器）の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。

- △** 空港施設、鉄道施設、港湾、病院などの管理区域内に指定されている場所での無線機器の使用については、各施設管理者にお問い合わせ、ご確認した上でご使用ください。

- △** 本機を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。

使用方法について

- △** エアパック装置の近くに無線機を置かないでください。エアパック装置が動作したときなど無線機が体に当たって怪我をすることがあります。

- △** 機械に巻き込まれる恐れのある場所では、スピーカーマイクロホンなどのケーブルを首にかけないでください。怪我の原因となります。

- △** 本機の近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

充電池の特性について

● 充電／放電を繰り返すと、使用できる時間が徐々に短くなります。

● 使用せずに置いておくだけでもわずかながら充電池の劣化が進みます。高温状態で充電／放電したり、トランシーバーを使用すると寿命が短くなります。また、高温状態での保管も劣化の進行が早まります。車の中に置いたままにしたり、暖房機の上に置いたままでいると劣化します。

● 充電池を高温状態で放置すると使用できなくなります。充電池が冷えてから使用してください。冷えても使用できない場合は、一度充電してください。使用できるようになります。

● 長期間保存後は、バッテリー容量が低下していることがあります。必ず充電してからご使用ください。

電池に関するご注意

● 本機は電波法に基づいて、特定無線設備の工事設計についての認証を取得した、特定小電力トランシーバーです。本機裏面の技術基準適合証明ラベルをはがして使用することは、電波法により禁止されています。

● 本機を分解したり、改造して使用することは電波法により禁止されています。

● 他人の通信を聞いてこれを漏らしたり、窃用することは電波法により禁止されています。

電波法に関するご注意

電波が全て揃っていることをご確認ください。

1

保証書 1

取扱説明書（本書） 1

電池について

アルカリ乾電池（単3形3本：4.5V）、または別売品の専用充電式バッテリーパック（UPB-5N）を使用してください。

使用する電池の種類設定

使用する電池の種類によって、設定を変えてください<メニュー→「バッテリーパック設定」>（裏面）。お買い上げ時の設定は「アルカリ乾電池」です。電池と設定が合っていないと、下記の電池残量表示が正しく表示されません。

電池の残量表示について

電池の残量のめやすを3段階で表示します。

1点灯になると、警告音「ビーピーピーピー」が約1分毎に繰り返し鳴ります。

バッテリー容量が低下していることをお知らせします。早めに電源を切り、新しい単3形アルカリ乾電池と交換するか、バッテリーパックを充電してください。

◆ 単3形充電式電池は使用しないでください。端子や電池の被覆がショートして発熱し、無線機本体が壊れることがあります。

1

3個点灯

2

2個点灯

1

1個点灯

電池の使用可能時間のめやす

アルカリ乾電池使用時

内蔵スピーカー使用時 50時間

イヤホンマイク使用時（EMC-3） 60時間

バッテリーパック UPB-5N 使用時

内蔵スピーカー使用時 17時間

イヤホンマイク使用時（EMC-3） 20時間

測定条件：

送信6秒／受信6秒／待ち受け48秒の繰り返し（送信出力10mW、室温25°C）

電池の使用可能時間は周囲温度や音量、電池の種類などにより変動します。

1

2

3

3個点灯

2個点灯

1個点灯

安全上のご注意

◆ UPB-5N用逆差し防止機構を設けていますが、反対向きに差し込むと、無線機が故障することがあります。

◆ 電池は十端子側を先に入れてください。

◆ リボン *

◆ ラベル *

◆ 電極端子 *

◆ リボン *

◆ ラベル *

◆ 電極端子 *

◆ リボン *

◆ ラベル *

◆ 電極端子 *

◆ リボン *

◆ ラベル *

◆ 電極端子 *

◆ リボン *

◆ ラベル *

◆ 電極端子 *

◆ リボン *

◆ ラベル *

◆ 電極端子 *

◆ リボン *

◆ ラベル *

◆ 電極端子 *

◆ リボン *

◆ ラベル *

◆ 電極端子 *

◆ リボン *

◆ ラベル *

◆ 電極端子 *

◆ リボン *

◆ ラベル *

◆ 電極端子 *

◆ リボン *

◆ ラベル *

◆ 電極端子 *

◆ リボン *

◆ ラベル *

◆ 電極端子 *

◆ リボン *

◆ ラベル *

◆ 電極端子 *

◆ リボン *

◆ ラベル *

◆ 電極端子 *

◆ リボン *

◆ ラベル *

◆ 電極端子 *

◆ リボン *

◆ ラベル *

◆ 電極端子 *

◆ リボン *

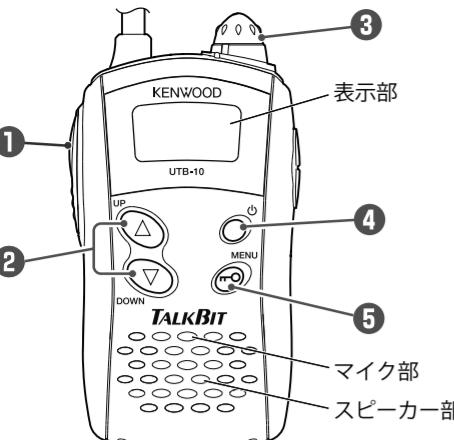
◆ ラベル *

◆ 電極端子 *

◆ リボン *

各部の名称と機能

各キーの機能説明



①【PTT】送信キー

送信するときに押します。離すと待ち受け状態になります。

②【▲】【▼】キー

【▲】: チャンネル番号が上がります。

【▼】: チャンネル番号が下がります。

● メニューのオートチャンネルセレクトキー設定「SCn」が「on」に設定されているときは、1秒以上押すとオートチャンネルセレクトを開始します。

③ 音量つまみ

右に回す: 音量を大きくします。

左に回す: 音量を小さくします。

④【①】キー

押す(0.5秒以上)ごとに電源が入ったり / 切れたりします。

⑤【MENU】キー

■ 押すとグループ番号設定を表示します。

■ 押しながら電源を入れると、メニューを表示します。

■ 押し続けるとキーロック機能が働きます。

表示部のアイコン説明

表示	説明
	電池の残量(めやす)を表示します。
	受信中の電波状態を表示します。<電波メーター>
	キーロック機能が働いているときに表示します。
	ラウドネス機能が「on」に設定されているときに表示します。
	送信中に表示します。<送信アイコン>
	受信中に表示します。<受信アイコン>
	PTT ホールドが「on」に設定されているときに点灯します。(送信中は点滅します)

操作のしかた

通信操作

- 【①】を押す(0.5秒以上)
電源が入り、チャンネル番号が表示されます。
- 音量つまみを半分ぐらい右に回す
- 【▲】【▼】を押して通信するチャンネル番号に切り替える
【▲】を押すとチャンネル番号が上がります。
【▼】を押すとチャンネル番号が下がります。

【▲】または【▼】を押し続けると、押している間連続してチャンネル番号が切り替わります。

9チャンネル機と通信する場合
h1 ~ h9 に合わせます。

11チャンネル機と通信する場合
1 ~ 11 に合わせます。

4 【PTT】を押しながら話す
<送信アイコン>が点灯し、送信状態になります。

マイク部から口を 5 cm ぐらい離してお話し下さい。

5 話し終わったら、【PTT】から指を離す
待ち受け状態になります。

受信すると<受信アイコン>と<電波メーター>が点灯します。

6 手順4と5の操作を繰り返して、通信する
トランシーバーを使用しないときは【①】を押し(0.5秒以上)電源を切ります。

◆ 設定したチャンネル番号がすでに使用されている場合、相手の方と共に、他のチャンネル番号を設定してください。

◆ トランシーバー間の距離が近い(10m 以内)と「h7」と「1」、「h8」と「2」、「h9」と「3」のチャンネル間で混信をおこす場合があります。多数のグループが近距離で通信する場合は、同一バンド(h1 ~ h9 または 1 ~ 11 チャンネル)内で通信するか、グループ番号を設定して混信を軽減してください。

7 通信時間の制限
本機の1回の通信時間は、送信・受信を合わせて3分間です。通信終了の30秒前になると、表示部の数字が点滅しながらカウントダウンを始めます。10秒前になると「ビッ」と予告音が鳴り、3分を経過すると送信禁止音(ブー)とともに送信を停止し、待ち受け状態に戻ります。続けて通信するときは、送信停止2秒後に【PTT】を押して相手を呼び出してください。

8 残り時間(点滅)

グループ番号の設定

他のグループと同じチャンネルで通信している場合、お互いの声が混ざり合って通信しづらくなります。仲間同士でグループ番号を設定しておくと、混信がなくなっています。

1 【MENU】を押す
グループ番号設定画面になります。

2 【▲】または【▼】を押す
グループ番号が切り替えられます。

設定範囲
oFF, 1 ~ 38

● 【▲】または【▼】を押し続けると、押している間連続してグループ番号が切り替わります。

グループ番号(点滅)

3 【MENU】を押す
または10秒間何もキーを操作しないと、グループ番号設定が終了します。

◆ 他のグループと同じチャンネル番号を使用している場合、音声は聞こえなくとも受信状態になり、<受信アイコン>と電波メーターが点灯します。このときに【PTT】を押しても「ブー」と鳴って送信できません。
◆ パッテリーセーブ機能が働いているときに、同じグループを受信するとき、パッテリーセーブ機能は自動的に解除されますが、違うグループを受信している場合は、パッテリーセーブ機能は解除されません。このときに受信信号の確認動作を繰り返すため、<受信アイコン>が点滅表示することがあります。

オートチャンネルセレクト

自動的にチャンネル内をスキャンして、グループ番号が一致したチャンネルを見つけるとそこで停止して受信する機能です。スキャン中に【PTT】を押すと送信すると、同じグループ番号の空いているチャンネルが設定され送信します。

● オートチャンネルセレクトを使用する前に以下の設定を確認します。

◆ グループ番号の設定: 1 ~ 38
◆ オートチャンネルセレクトキー設定: 「on」/「SCn」(本機の【▲】、【▼】を使用するとき)
◆ リモートキー設定: 「on」/「REm」(オプションのリモート対応マイクロホンを使用するとき)

1 本機の【▲】、【▼】を1秒以上押す、またはオプションのリモート対応マイクロホンの【2】を1秒以上押す
「SCn」と表示され、スキャningを開始します。

グループ番号

2 【PTT】を2~3秒押し続ける

空いているチャンネルで10秒ほど停止します。停止中に【PTT】を押したまま通常よりゆっくり呼びかけます。呼びかけが終わったら【PTT】から指を離し、相手の方がそのチャンネルで応答してくるのを待ちます。

3 <受信アイコン>が消えてから、【PTT】を押して応答する

オートチャンネルセレクトを解除する

4 本機の【▲】、【▼】、【MENU】を押す。または、オプションのリモート対応マイクロホンの【2】を1秒以上押す
表示しているチャンネルで待ち受け状態になります。

◆ 10秒以内に応答してください。10秒以上送信・受信がないと、スキップを再開します。
◆ オートチャンネルセレクト中にモニター機能をONにするとスキャンが一時停止して、チャンネルをモニターできます。
◆ グループ番号が「oFF」のときは、オートチャンネルセレクトキーは動作しません。

モニター

電波が弱いときにスケルチ(雑音消去回路)を強制的に開き、信号の状態を一時的にモニターすることができます。また、音量を調整するときにも使用できます。

モニターする

1 【①】を押し、一度電源を切る

2 【▼】を押しながら【①】を押し、電源を入れる
スケルチが開いて、<受信アイコン>と<電波メーター>が点灯します。

(点灯)
 (点灯)

● 信号を受信していないときは「ザー」という雑音がでます。音量レベルを調整するときのめやすにもできます。

モニターを解除する

3 電源を入れ直します。

◆ モニター機能を使用するときは、音量レベルに注意してください。特にイヤホンを使用しているときは、「ザー」というノイズを大きい音量で聞くと耳に障害を受けることがあります。

オプションのリモート対応マイクロホンを接続している場合は(リモコンキー設定「REm」を「on」に設定してください。)

1 オプションのリモート対応マイクロホンの【1】を押す
押している間スケルチが開きます。

コールトーン呼び出し

相手を電話の呼び出し音のような音(コールトーン)で呼び出すことができます。コールトーンは6種類から選択できます。また、4種類のメロディーも選択できます。

本機のキーでコールトーン呼び出しをするとき

1 【PTT】を押したまま【▲】を押す
押している間コールトーンが送信されます。

オプションのリモート対応マイクロホンのキーを押して、コールトーン呼び出しをするとき

● リモートキー設定「REm」を「on」に設定しておきます。

1 オプションのリモート対応マイクロホンの【3】を押す
押している間コールトーンが送信されます。

● 【PTT】を押したままリモート対応マイクロホンの【3】を押しても送信されません。

◆ キーロックが動作しているときもコールトーンを送信することができます。

キーロック

間違えてチャンネル番号やグループ番号を変えないように、キーをロックしておくことができます。

● キーロックで連動して表示を消すこともできます。「チャンネル非表示設定」

キーロックをする

1 【MENU】をキーロック長押し時間押す
キーロックが動作します。キーロック中は「-」が点灯します。

(点灯)

キーロックを解除する

2 【MENU】を設定した時間以上押す
キーロックが解除され、「-」が消灯します。

キーロック中でも以下のキー操作はできます。

● 【①】(電源入/切る)

● 【▲】+【▼】+【①】(オールリセット)

● 【▼】+【①】(モニター)

● 【PTT】(送信)

● 【PTT】+【▲】(コールトーン送出)

● オプションのリモート対応マイクロホンの【1】(モニター)

● オプションのリモート対応マイクロホンの【3】(コールトーン送出)

◆ キーロックに連動して表示を消すこともできます。「チャンネル非表示設定」。

キーロック長押し時間設定

【MENU】を押してキーロックが作動 / 解除するまでの時間を設定できます。

(点灯)

1 ~ 5 1秒~5秒

チャンネル非表示設定

チャンネル番号やグループ番号を表示させない設定です。

(点灯)

oFF チャンネルやグループ番号を表示します。

on チャンネルやグループ番号は表示しません。

LoC キーロック時にチャンネルやグループ番号を表示しません。

● この機能を「on」または「LoC」に設定している場合は、チャンネルを切り替えると、切り替えたチャンネルを2秒間表示します。電源を入れたときも現在のチャンネルを2秒間表示します。

バックライト動作設定

表示部照明の点灯条件を設定します。

(点灯)

oFF バックライトは常に消灯します。

ACt 【PTT】以外のキーを操作したときにバックライトが5秒間点灯します。

Any キーを操作したときや信号を送信 / 受信するとバックライトが5秒間点灯します。

on バックライトが常に点灯します。

リセット

リセットすると、設定されている内容は全てお買い上げ時の状態に戻ります。

1 一度電源を切る

2 【▲】と【▼】を押しながら【①】を押して電源を入れる

表示が全点灯します。

3 【▲】、【▼】、【①】のいずれかのキーを離す

確認画面が表示されます。

(点灯)

4 【PTT】を押す

設定がリセットされて初期値に戻り、待ち受け状態になります。

(点灯)

● 【PTT】以外のキーを押した場合は、リセットしないで待ち受け状態になります。

バッテリー種別設定

使用する電池の種類を設定します。

AL アルカリ乾電池を使用するとき

ni バッテリーパック UPB-5N を使用するとき